

1 解答

仕訳一組につき 4 点を与える。合計 12 点。

	借 方		貸 方	
a	買 掛 金	750,000	電 子 記 録 債 権	750,000
b	有 価 証 券	1,526,000	当 座 預 金	1,526,000
c	現 金	200,000	受 取 商 品 券	200,000

2 解答

●数字は採点基準。合計 20 点。

(1)

a	87,500	b	15,000
c	損 益	各	4

(2)

a	1	b	2
---	---	---	---

2 つ正解で 4

(3)

	借 方		貸 方	
a	岡 山 支 店	3,000,000	現 金	3,000,000
b	仕 入	1,100,000	本 店	1,100,000

4

3 解答

●数字は採点基準。合計 8 点。

ア	277,000
イ	1,667,600
ウ	490,000

各 2

売 掛 金		4
3,897,300		2,482,600
2 1/17	430,000	1/17 201,000

4 解答

●数字は採点基準。合計 24 点。

(1)

総 勘 定 元 帳											
当 座 預 金 2				受 取 手 形 5				売 掛 金 6			
1/ 1	278,900	1/10	45,100 3	1/ 6	51,000			1/ 1	200,200	1/13	25,500
13	25,500	17	71,000	24	11,600			6	43,500	24	11,600
		20	22,200					15	21,600		
買 掛 金 18				売 上 24				仕 入 30			
1/17	71,000	1/ 1	189,200		1/ 6	94,500		1/ 4	79,900		
		4	79,900		15	21,600 3		10	45,100		
								20	22,200 3		

## 当座預金出納帳

1

令和 ○年	摘要	預入	引出	借または貸	残高
/ /	前月繰越	278,900		借	278,900
10	三重商店に仕入代金支払い 小切手# 3		3 45,100	〃	233,800
13	島根商店の売掛金回収	25,500		〃	259,300
17	和歌山商店に買掛金支払い 小切手# 5		71,000	〃	188,300
20	和歌山商店に仕入代金支払い 小切手# 6		22,200	〃	166,100
3 31	次月繰越		166,100		
		304,400	304,400		

## 受取手形記入帳

令和 ○年	摘要	金額	手形 種類	手形 番号	支払人	振出人または裏書人	振出日	満期日	支払場所	てん末 月日	摘要
1 6	売り上げ	51,000	約手	3	島根商店	島根商店	1 6	2 6	西銀行本店		
24	売掛金回収	11,600	約手	8	島根商店	島根商店	1 24	3 24	西銀行本店		

## 売掛金元帳

## 島根商店

2

令和 ○年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高
/ /	前月繰越	39,600		借	39,600
6	売り上げ	43,500		〃	83,100
13	回収		25,500	〃	57,600
15	売り上げ	21,600		〃	79,200
24	手形受け取り		11,600	〃	67,600
3 31	次月繰越		67,600		
		104,700	104,700		

## 5 解答

●数字は採点基準。合計 24 点。

(1)

## 貸借対照表

令和○年 / 2 月 3 / 日

(単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現金	958,000	支払手形	997,000
当座預金	2,203,000	買掛金	1,060,000 3
受取手形 ( 1,140,000)		営業外支払手形	224,000
貸倒引当金 ( 11,400)	3 1,128,600	(前受地代)	210,000 3
売掛金 ( 2,000,000)		資本金	9,200,000
貸倒引当金 ( 20,000)	1,980,000	(当期純利益)	380,600 3
有価証券	3 1,680,000		
商品	315,000		
貯蔵品	3 27,000		
建物 ( 1,500,000)			
減価償却累計額 ( 720,000)	3 780,000		
土地	3,000,000		
	12,071,600		12,071,600

(2)

21,400 3
----------

## 6 解答

仕訳一組につき 4 点を与える。合計 12 点。

	借 方	貸 方
a	未払法人税等 530,000	現金 530,000
b	当座預金 8,400,000	資本金 8,400,000
	創立費 240,000	当座預金 240,000
c	損益 3,450,000	繰越利益剰余金 3,450,000

## ❖ 解答への道

1

## a 電子記録債権の譲渡

買掛金を支払ったときは、その債務が消滅するため、買掛金勘定（負債）の借方に記入します。また、電子記録債権を譲渡したときは、電子記録債権が消滅するため、電子記録債権勘定（資産）の貸方に記入します。

## ここがPOINT!

## ■電子記録債権の譲渡と割り引き

- (1) 電子記録債権を譲渡したとき（本問）  
→債権金額をあとで受け取れる権利がなくなるので、資産の減少として電子記録債権勘定（資産）の貸方に記入する。
- (2) 電子記録債権を譲渡されたとき  
→債権金額をあとで受け取れる権利が生じるので、資産の増加として電子記録債権勘定（資産）の借方に記入する。
- (3) 電子記録債権を取引銀行などで割り引いたとき  
→取引銀行などに債権を譲渡するので、債権金額を電子記録債権勘定（資産）の貸方に記入し、割引料を電子記録債権売却損勘定（費用）の借方に記入する。  
→受け取る金額は割引料を差し引いた金額。

## b 有価証券の取得

売買目的で株式を買入れたときは、有価証券勘定（資産）の借方に記入します。なお、買入手数料は有価証券の取得原価に含めます。また、代金は小切手を振り出して支払っているため当座預金勘定（資産）の貸方に記入します。

## ここがPOINT!

## ■有価証券の購入

有価証券の取得原価は以下のように計算します。

## (1) 株式の購入（本問）

$$\text{取得原価} = \underbrace{1 \text{株あたりの買入単価}}_{\text{買入価額}} \times \underbrace{\text{購入株数}}_{\text{購入口数}} + \underbrace{\text{買入手数料など}}_{\text{付随費用}}$$

## (2) 公社債の購入

$$\text{取得原価} = \underbrace{1 \text{口あたりの買入単価}}_{\text{買入価額}} \times \underbrace{\text{購入口数} (*)}_{\text{購入口数}} + \underbrace{\text{買入手数料など}}_{\text{付随費用}}$$

$$= \text{額面金額} \times \frac{1 \text{口あたりの買入単価}}{\text{¥100}} + \text{買入手数料など}$$

$$(*) \text{購入口数} = \frac{\text{額面金額}}{\text{¥100}}$$

## c 受取商品券の精算

他店が発行した商品券を精算したときは、商品券を買い取ってもらう権利がなくなるので、資産の減少として受取商品券勘定（資産）の貸方に記入します。また、現金と交換しているため現金勘定（資産）の借方に記入します。

2

## (1) 金額および勘定科目の推定問題

## a 建物の減価償却費

$$\text{建物の減価償却費 (a の金額)} = 2,625,000 \text{ 円} \div 30 \text{ 年} = 87,500 \text{ 円} \cdots a$$

## b 固定資産売却損

備品を売却したときの仕訳から固定資産売却損益を求めます。なお、期首に売却しているため減価償却費は生じません。

(備品減価償却累計額)	175,000	(備品)	400,000
(現金)	210,000		
(固定資産売却損)	15,000*		

$$* \quad 210,000 \text{ 円} - \frac{(400,000 \text{ 円} - 175,000 \text{ 円})}{\text{備品帳簿価額225,000円}} = \triangle 15,000 \text{ 円} \rightarrow 15,000 \text{ 円} \cdots b$$

## c 勘定科目の推定

収益・費用に関しては、期末に損益勘定への振替仕訳を行います。 → 損益…c

(損益)	15,000	(固定資産売却損)	15,000
------	--------	-----------	--------

以上より、総勘定元帳（一部）の空欄に記入をおこなうと下記ようになります。

備品	
1/1 前期繰越	400,000
1/1 諸口	400,000
備品減価償却累計額	
1/1 備品	175,000
1/1 前期繰越	175,000
建物	
1/1 前期繰越	2,625,000
12/31 次期繰越	2,625,000
建物減価償却累計額	
12/31 (次期繰越) ( 787,500)	1/1 前期繰越 700,000
	12/31 減価償却費 ( a…87,500)
( 787,500)	( 787,500)
固定資産売却 (損)	
1/1 備品 ( b…15,000)	12/31 ( c…損益) ( 15,000)

## (2) 会計用語・英語表記（語群選択問題）

語群の和訳は、次のようになります。

1. Securities	有価証券
2. Transactions	取引

また、空欄を埋めると、次の文章になります。

売買を目的として保有する株式や債券などの有価証券は、証券取引所の売買時点における時価を基準にして売買される。そこで、決算時に所有する有価証券の本来の価値を帳簿に示すため、帳簿価額と時価が異なるときは、その帳簿価額を時価に修正する必要がある。これを、有価証券の「2. 評価替え」という。

## (3) 本支店間取引（本店集中計算制度）

### a

〈本店側の仕訳〉

本店は、現金を送付した、すなわち現金が減少したため、現金勘定の貸方に記入し、相手勘定には岡山支店勘定を記入します。

（岡 山 支 店）	3,000,000	（現 金）	3,000,000
-----------	-----------	-------	-----------

また、岡山支店側の仕訳を示すと次のようになります。

〈岡山支店側の仕訳〉

現金を受け入れたため、現金勘定の借方に記入し、相手勘定には本店勘定を記入します。

（現 金）	3,000,000	（本 店）	3,000,000
-------	-----------	-------	-----------

### b

〈本店側の仕訳〉

商品を原価で送るときは、仕入勘定で記帳をおこないます。よって、本店側では、仕入勘定の貸方に記入し、相手勘定には長野支店勘定を記入します。

（長 野 支 店）	1,100,000	（仕 入）	1,100,000
-----------	-----------	-------	-----------

〈長野支店側の仕訳〉

長野支店は、商品の仕入として、仕入勘定の借方に記入し、相手勘定には本店勘定を記入します。

（仕 入）	1,100,000	（本 店）	1,100,000
-------	-----------	-------	-----------

## 3

### 1 1月17日の取引

#### a. 広島商店との取引（商品仕入れ）

商品を仕入れたときは、仕入勘定（費用）の借方に記入し、代金は現金で支払ったため現金勘定（資産）の貸方に記入します。なお、出金伝票の空欄の取引になります。

（仕 入）	350,000	（現 金）	350,000
-------	---------	-------	---------

#### b. 広告料の支払い

広告料を支払ったときは、広告料勘定（費用）の借方に記入します。また、小切手を振り出して支払ったため、当座預金勘定（資産）の貸方に記入します。なお、振替伝票の空欄の取引になります。

（広 告 料）	27,000	（当 座 預 金）	27,000
---------	--------	-----------	--------

### 2 入金伝票

入金伝票には入金取引が記入されるため、仕訳の借方は現金勘定（資産）になります。

（現 金）	201,000	（売 掛 金）	201,000
（現 金）	250,000	（当 座 預 金）	250,000
（現 金）	599,000	（売 上）	599,000

### 3 出金伝票

出金伝票には出金取引が記入されるため、仕訳の貸方は現金勘定（資産）になります。

（支 払 家 賃）	56,000	（現 金）	56,000
（普 通 預 金）	660,000	（現 金）	660,000
（未 払 金）	50,000	（現 金）	50,000
（仕 入）	350,000	（現 金）	350,000

### 4 振替伝票

振替伝票には現金の増減とならない取引を記入します。

（所 得 税 預 り 金）	200,000	（普 通 預 金）	200,000
（当 座 預 金）	330,000	（売 上）	330,000
（仕 入）	140,000	（買 掛 金）	140,000
（当 座 預 金）	308,600	（売 上）	308,600
（売 掛 金）	60,000	（売 上）	60,000
（売 掛 金）	370,000	（売 上）	370,000
（通 信 費）	19,000	（普 通 預 金）	19,000
（買 掛 金）	5,000	（仕 入）	5,000
（広 告 料）	27,000	（当 座 預 金）	27,000

## 5 仕訳集計表

各伝票に記入された1日分の取引を勘定科目ごとに集計します。また、仕訳集計表の元丁欄に売掛金勘定の丁数（勘定口座番号）を記入します。

仕 訳 集 計 表				
令和〇年 / 月 / 7日				
借 方	元 丁	勘 定 科 目	元 丁	貸 方
1,050,000		現 金		1,116,000
638,600		当 座 預 金		277,000 …ア
660,000		普 通 預 金		219,000
430,000	4	売 掛 金	4	201,000
5,000		買 掛 金		140,000
50,000		未 払 金		
200,000		所得稅預り金		
		売 上		1,667,600 …イ
ウ… 490,000		仕 入		5,000
27,000		広 告 料		
19,000		通 信 費		
56,000		支 払 家 賃		
3,625,600				3,625,600

## 6 売掛金勘定への記入

仕訳集計表から1月17日の取引の合計金額で転記します。

売掛金勘定の借方に「1/17 430,000」、貸方に「1/17 201,000」と、日付、金額の順で記入します。

## 4

取引について仕訳し、総勘定元帳（略式）の記入をおこないます。次に、当座預金出納帳、受取手形記入帳および売掛金元帳に記入します。当座預金出納帳および売掛金元帳は締め切ることに注意しましょう。

## 1 1月中の諸取引の仕訳と総勘定元帳への記入

以下に各取引の仕訳を示します。なお、売掛金元帳作成に必要な仕訳には、売掛金勘定に商店名を記載しています。

(1) 4日 和歌山商店からの掛けによる仕入れ（A品およびB品）

① 取引の仕訳

(仕 入)	79,900*	(買 掛 金)	79,900
-------	---------	---------	--------

\* A品：@ 190円 × 250個 = 47,500円  
B品：@ 360円 × 90個 = 32,400円  
仕入：47,500円 + 32,400円 = 79,900円

② 帳簿の記入

総勘定元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳			
買 掛 金	18	仕 入	30
1/ 1	189,200	1/ 4	79,900
4	79,900		

(2) 6日 島根商店への手形と掛けによる売り上げ（A品およびB品）

① 取引の仕訳

(受 取 手 形)	51,000	(売 上)	94,500*
(売 掛 金・島根商店)	43,500		

\* A品：@ 240円 × 300個 = 72,000円  
B品：@ 450円 × 50個 = 22,500円  
売上：72,000円 + 22,500円 = 94,500円

② 帳簿の記入

総勘定元帳、受取手形記入帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳																			
受 取 手 形						売 掛 金													
1/ 6		51,000				1/ 1		200,200											
						6		43,500											
売 上						24													
		1/ 6		94,500															
受 取 手 形 記 入 帳																			
令和 〇年		摘 要		金 額		手形種類 手形番号		支 払 人		振出人または裏書人		振出日		満期日		支払場所		てん末	
																		月 日 摘 要	
1	6	売り上げ		51,000		約手 3		島根商店		島根商店		1	6	2	6	西銀行本店			

売掛金元帳											
島根商店											
2											
令和 〇年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高						
/ /	前月繰越		39,600	借	39,600						
6	売り上げ	43,500		〃	83,100						

(3) 10日 三重商店からの小切手振り出しによる仕入れ（A品）

① 取引の仕訳

(仕 入)	45,100*	(当 座 預 金)	45,100
-------	---------	-----------	--------

\* A品：@ 220円× 205個 = 45,100円

② 帳簿の記入

総勘定元帳および当座預金出納帳に記入します。

総勘定元帳											
当座預金						仕 入					
2						30					
1/ 1	278,900	1/10	45,100			1/ 4	79,900				
						10	45,100				
当座預金出納帳											
1											
令和 〇年	摘要	預入	引出	借または貸	残高						
/ /	前月繰越	278,900		借	278,900						
10	三重商店に仕入代金支払い 小切手# 3		45,100	〃	233,800						

(4) 13日 当座預金口座による島根商店の売掛金の回収

① 取引の仕訳

(当 座 預 金)	25,500	(売掛金・島根商店)	25,500
-----------	--------	------------	--------

② 帳簿の記入

総勘定元帳、当座預金出納帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳									
当 座 預 金				2					
1/ 1		278,900	1/10	45,100	1/ 1		200,200	1/13	25,500
13		25,500			6		43,500		
当 座 預 金 出 納 帳									
令和 〇年	摘 要			預 入	引 出	借または 貸	残 高		
/	/	前月繰越			278,900		借	278,900	
	10	三重商店に仕入代金支払い 小切手# 3				45,100	〃	233,800	
	13	島根商店の売掛金回収			25,500		〃	259,300	

売掛金元帳											
島根商店											
2											
令和 〇年	摘要	借方	貸方	借または貸	残高						
/ /	前月繰越	39,600		借	39,600						
6	売り上げ	43,500		〃	83,100						
13	回 収		25,500	〃	57,600						

(5) 15日 島根商店への掛け売り上げ（A品）

① 取引の仕訳

(売掛金・島根商店)	21,600	(売 上)	21,600*
------------	--------	-------	---------

\* A品：@ 270円× 80個 = 21,600円

② 帳簿の記入

総勘定元帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳						
売 掛 金			6	売 上		24
1/ 1	200,200	1/13	25,500		1/ 6	94,500
6	43,500				15	21,600
15	21,600					

売 掛 金 元 帳						
島 根 商 店						2
令和 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借また は 貸	残 高	
/ /	前 月 繰 越	39,600		借	39,600	
6	売 り 上 げ	43,500		〃	83,100	
13	回 収		25,500	〃	57,600	
15	売 り 上 げ	21,600		〃	79,200	

(6) 17 日 和歌山商店に対する買掛金の支払い

① 取引の仕訳

(買 掛 金)	71,000	(当 座 預 金)	71,000
---------	--------	-----------	--------

② 帳簿の記入

総勘定元帳および当座預金出納帳に記入します。

総 勘 定 元 帳					
当 座 預 金			買 掛 金		
1/ 1	278,900	1/10	45,100	1/17	71,000
13	25,500	17	71,000	1/ 1	189,200
				4	79,900

当 座 預 金 出 納 帳					
令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または 貸	残 高
/ /	前月繰越	278,900		借	278,900
10	三重商店に仕入代金支払い 小切手# 3		45,100	〃	233,800
13	島根商店の売掛金回収	25,500		〃	259,300
17	和歌山商店に買掛金支払い 小切手# 5		71,000	〃	188,300

(7) 20 日 和歌山商店からの小切手による仕入れ (B品)

① 取引の仕訳

(仕 入)	22,200*	(当 座 預 金)	22,200
-------	---------	-----------	--------

\* B品: @ 370 円 × 60 個 = 22,200 円

② 帳簿の記入

総勘定元帳および当座預金出納帳に記入します。

総 勘 定 元 帳					
当 座 預 金			仕 入		
1/ 1	278,900	1/10	45,100	1/ 4	79,900
13	25,500	17	71,000	10	45,100
		20	22,200	20	22,200

当 座 預 金 出 納 帳					
令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または 貸	残 高
/ /	前月繰越	278,900		借	278,900
10	三重商店に仕入代金支払い 小切手# 3		45,100	〃	233,800
13	島根商店の売掛金回収	25,500		〃	259,300
17	和歌山商店に買掛金支払い 小切手# 5		71,000	〃	188,300
20	和歌山商店に仕入代金支払い 小切手# 6		22,200	〃	166,100

(8) 24 日 手形による島根商店の売掛金の回収

① 取引の仕訳

(受 取 手 形)	11,600	(売 掛 金・島 根 商 店)	11,600
-----------	--------	-----------------	--------

② 帳簿の記入

総勘定元帳、受取手形記入帳および売掛金元帳に記入します。

総 勘 定 元 帳					
受 取 手 形			売 掛 金		
1/ 6	51,000	1/ 1	200,200	1/13	25,500
24	11,600	6	43,500	24	11,600
		15	21,600		

受 取 手 形 記 入 帳											
令和 〇年	摘 要	金 額	手形 種類	手形 番号	支 払 人	振出人または 裏書人	振出日	満期日	支払場所	てん末	
1	6 売り上げ	51,000	約手	3	島根商店	島根商店	1	6	2	6	西銀行本店
24	売掛金回収	11,600	約手	8	島根商店	島根商店	1	24	3	24	西銀行本店

売 掛 金 元 帳					
島 根 商 店					
令和 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借または 貸	残 高
/ /	前 月 繰 越	39,600		借	39,600
6	売 り 上 げ	43,500		〃	83,100
13	回 収		25,500	〃	57,600
15	売 り 上 げ	21,600		〃	79,200
24	手形受け取り		11,600	〃	67,600

## 2 帳簿の締め切り

(1) 当座預金出納帳の締め切り

当座預金出納帳は、締め切りのさいに貸借差額により次月繰越高 (月末の残高) を算定し、赤記します。その後、預入欄と引出欄をそれぞれ合計し、二重線を引いて締め切ります。

当 座 預 金 出 納 帳					
令和 〇年	摘 要	預 入	引 出	借または 貸	残 高
/ /	前月繰越	278,900		借	278,900
10	三重商店に仕入代金支払い 小切手# 3		45,100	〃	233,800
13	島根商店の売掛金回収	25,500		〃	259,300
17	和歌山商店に買掛金支払い 小切手# 5		71,000	〃	188,300
20	和歌山商店に仕入代金支払い 小切手# 6		22,200	〃	166,100
31	次月繰越		166,100		
		304,400	304,400		

(2) 売掛金元帳の締め切り

売掛金元帳は、締め切りのさいに貸借差額により次月繰越高（月末の残高）を算定し、赤記します。その後、借方欄と貸方欄をそれぞれ合計し、二重線を引いて締め切ります。

売 掛 金 元 帳					
島 根 商 店					
令和 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
/ /	前 月 繰 越	39,600		借	39,600
6	売 り 上 げ	43,500		ク	83,100
13	回 収		25,500	ク	57,600
15	売 り 上 げ	21,600		ク	79,200
24	手形受け取り		11,600	ク	67,600
31	次 月 繰 越		67,600		
		104,700	104,700		

5

1 付記事項

買掛金の決済が手形の裏書譲渡によりおこなわれた取引につき、記帳をしていなかったため、記帳します。

(買 掛 金)	160,000	(受 取 手 形)	160,000
---------	---------	-----------	---------

B/S 受取手形：1,300,000 円 - 160,000 円 = 1,140,000 円

B/S 買掛金：1,220,000 円 - 160,000 円 = 1,060,000 円

2 決算整理仕訳

a. 売上原価の算定

期首商品棚卸高を、繰越商品勘定から仕入勘定に振り替えます。また、期末商品棚卸高を、仕入勘定から繰越商品勘定へ振り替えます。

(仕 入)	298,000* <sup>1</sup>	(繰 越 商 品)	298,000
(繰 越 商 品)	315,000* <sup>2</sup>	(仕 入)	315,000

\* 1 期首商品棚卸高（残高試算表の繰越商品より）

\* 2 期末商品棚卸高（決算整理事項の a より）

B/S 商品：315,000 円

b. 貸倒引当金の設定

貸倒引当金勘定の残高が、受取手形と売掛金の期末残高の 1% になるよう差額を補充します。

(貸 倒 引 当 金 繰 入)	21,400*	(貸 倒 引 当 金)	21,400
-----------------	---------	-------------	--------

\* 貸倒引当金設定額

受 取 手 形：1,140,000 円 × 1% = 11,400 円

売 掛 金：2,000,000 円 × 1% = 20,000 円

設 定 額 合 計：31,400 円

残 高 試 算 表：△ 10,000 円

(差引) 繰入額：21,400 円 …(2)

B/S 貸倒引当金（受取手形）：11,400 円

B/S 貸倒引当金（売掛金）：20,000 円

c. 減価償却費の算定

残高試算表に建物減価償却累計額があるため、間接法で処理します。

(減 価 償 却 費)	60,000*	(建物減価償却累計額)	60,000
-------------	---------	-------------	--------

\* 1,500,000 円 ÷ 25 年 = 60,000 円

B/S 減価償却累計額：660,000 円 + 60,000 円 = 720,000 円

d. 有価証券の評価替え

時価に評価替えをおこないます。時価が帳簿価額より低い場合、有価証券評価損を計上します。

(有 価 証 券 評 価 損)	63,000*	(有 価 証 券)	63,000
-----------------	---------	-----------	--------

\* ( @ 5,600 円 × 300 株 ) - 1,743,000 円 = △ 63,000 円 (評価損)

1 株あたり時価 残高試算表

B/S 有価証券：1,743,000 円 - 63,000 円 = 1,680,000 円

e. 貯蔵品への振り替え

郵便切手の未使用高を通信費勘定から貯蔵品勘定に振り替えます。

(貯 蔵 品)	27,000	(通 信 費)	27,000
---------	--------	---------	--------

B/S 貯蔵品：27,000 円



f. 受取地代の繰り延べ

受取地代 360,000 円のうち、次期分（次期 1 月 1 日から次期 7 月 31 日までの 7 か月分）を前受地代勘定へ振り替えます。

(受 取 地 代)	210,000*	(前 受 地 代)	210,000
-----------	----------	-----------	---------

$$* \quad 360,000 \text{ 円} \times \frac{7 \text{ か月 (次期 1 月 1 日～次期 7 月 31 日)}}{12 \text{ か月 (当期 8 月 1 日～次期 7 月 31 日)}} = 210,000 \text{ 円}$$

B/S 前受地代：210,000 円

g. 現金過不足（貸方残高）の振り替え

決算において原因が判明しなかった現金過不足（貸方残高）は、雑益勘定へ振り替えます。

(現 金 過 不 足)	6,000	(雑 益)	6,000
-------------	-------	-------	-------

3 当期純利益の算定

損益計算書を作成すると以下ようになります。

損 益 計 算 書			
東京商店	令和○年 / 月 / 日から令和○年 / 2 月 3 / 日まで (単位：円)		
費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	7,664,000	売 上 高	10,607,000
給 料	2,126,000	受 取 地 代	250,000
貸倒引当金繰入	21,400	雑 益	6,000
減 価 償 却 費	60,000		
保 険 料	165,000		
租 税 公 課	95,000		
通 信 費	182,000		
支 払 利 息	106,000		
有価証券評価損	63,000		
当 期 純 利 益	380,600		
	10,863,000		10,863,000

6

a 法人税等の確定申告

法人税等の確定申告をおこなったときは、直前の決算において計上していた未払法人税等の金額を納付します。未払法人税等の金額は、法人税等の金額から中間申告のさいに納付していた仮払法人税等の金額を差し引いた金額となります。

確定申告では、未払法人税等勘定（負債）の借方に記入し、現金で納付したため現金勘定（資産）の貸方に記入します。

〈前期末決算日の仕訳〉

(法 人 税 等)	880,000	(仮 払 法 人 税 等)	350,000
		(未 払 法 人 税 等)	530,000*

$$* \quad 880,000 \text{ 円} - 350,000 \text{ 円} = 530,000 \text{ 円}$$

〈確定申告の仕訳〉

(未 払 法 人 税 等)	530,000	(現 金)	530,000
---------------	---------	-------	---------

b 株式の発行（設立時）

株式を発行したときは、原則として払込金額の全額を資本金勘定（純資産）に記入します。

なお、設立に要した諸費用は創立費勘定（費用）の借方に記入します。

(当 座 預 金)	8,400,000	(資 本 金)	8,400,000*
(創 立 費)	240,000	(当 座 預 金)	240,000

$$* \quad @ 14,000 \text{ 円} \times 600 \text{ 株} = 8,400,000 \text{ 円}$$

## ❏ 当期純利益の振り替え

当期純利益を計上したときは、損益勘定の借方と繰越利益剰余金勘定（純資産）の貸方に記入します。

(損	益)	3,450,000	(繰越利益剰余金)	3,450,000
----	----	-----------	-----------	-----------

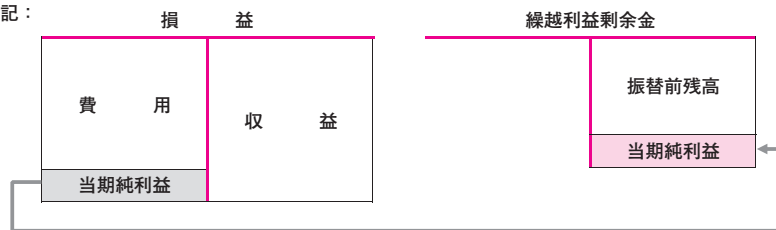
### ここがPOINT!

#### ■損益の繰越利益剰余金勘定への振り替え

(1) 損益勘定の残高が貸方残高の場合→当期純利益（本問）

仕訳： (損 益) × × × (繰越利益剰余金) × × ×

転記：



(2) 損益勘定の残高が借方残高の場合→当期純損失

仕訳： (繰越利益剰余金) × × × (損 益) × × ×

転記：

